

## 第13回あわら市子ども・子育て会議録

- 1 日 時：平成31年3月8日（金）19時00分～20時10分
- 2 場 所：あわら市役所 202会議室
- 3 出席者
  - (1) 委員  
森俊之委員（会長）、浅野壽恵委員（副会長）、竹内浩美委員、  
野村等委員、五十嵐由紀子委員、橋本純一委員、木谷眞知子委員  
塚田美紀子委員  
《欠席者》五十嵐美根子委員、先川原八千代委員、久保地誠委員
  - (2) 事務局  
《子育て支援課》  
大代典子課長、山本昌明子育て支援GL、村中直子児童福祉GL、  
井上堯之主事
- 4 議題
  - (1) 平成31年度 新規入園者受付状況報告（資料1）
  - (2) 第2期子ども子育て支援事業計画策定スケジュール（案）について
  - (3) その他
- 5 承認事項  
☆第2期子ども子育て支援事業計画策定スケジュール（案）について、現時  
点での承認を得た。

### 会議の経過

- 事務局 （開会あいさつ）  
（会議の趣旨について説明）
- 事務局 ここからは規定により、森会長に議事進行をお願いいたします。
- 議 長（会長）議題に従い、平成31年度 新規入園者受付状況報告（資料  
1）、事務局より説明してください。
- 事務局 【資料1に基づき説明】
- 竹内委員 1号から3号というのは、どういう意味か。
- 事務局 1号認定は教育標準時間と言いまして、幼稚園の時間でお預かり  
する子、2号、3号認定については保育所の時間でお預かりす

- る家庭での保育に欠けるお子さんを預かるものです。○議 長（会長）資料 1-1 は、平成 31 年度の定数ではないのですね。
- 事務局 資料 1-1 については、平成 30 年度の最終実績となっている。平成 31 年度の見込み値としては、現状でもかなり動きがあり、4 月以降にお示しすることとしたい。
- 議 長（会長）了承した。
- 木谷委員 資料 1-1 を見ると、芦原地区の私立こども園の充足率が低いようだが。
- 事務局 平成 30 年度から公立こども園の定員を減らしており、私立園の充足率が上がるようになっているが、芦原地区の私立園は改修等で定員を増やしていることから、充足率が若干低めとなっている。
- 木谷委員 了承した。
- 野村委員 0～1 歳については、3 人に 1 人、保育士の配置があると聞いたが、全国的にも保育士不足が言われている中、保育士は足りているのか。
- 木谷委員 予約してもらって、いつの時期に入るか途中入園の時期などがわかっているならば、保育士を確保する。突然、入園希望があった場合などは、お断りすることもある。
- 議 長（会長）全国的な傾向ですが、保育や教育分野の志願者が減っている傾向にある。待遇が悪いというイメージなのがマイナスとなっている。あわら市でも 5 歳児の無料化を国に先駆けて行ったように、保育士の処遇改善も先駆的にやるのもよいかもしれない。
- 事務局 0 歳から預ける人が増えている。企業も人材不足のため、早く出てきてほしいと要望している様子。ニーズ調査のアンケート回答でも実際に育休を取得したのは 10 カ月だが、本当は 1 年 6 カ月取りたかったという回答が多い。
- 議 長（会長）実際の取得との開きは、会社からの要請が多い現れか。
- 竹内委員 0 歳児はいつから預けることができるのか。
- 木谷委員 私立では 57 日から預かることが多い。
- 議 長（会長）議題（2）第 2 期子ども子育て支援事業計画策定スケジュール（案）について、事務局から説明してください。
- 事務局 【資料 2 に基づき説明】計画案策定に伴い、会議回数が増える。ご協力をお願いしたい。【ニーズ調査用紙についても説明】
- 議 長（会長）スケジュール案とニーズ調査について、よろしいか。
- 全 員 了承。

- 議長（会長）（3）その他について、何かあれば。
- 事務局 10月1日からの3～5歳児の保育料無償化について説明。副食費については、原則徴収するように国が方針を出しているが、流動的な部分もあるため、今後も会議の際、説明していく。
- 議長（会長）保育料を国に先駆けて無償化している5歳児は、副食費が発生することとなる。
- 事務局 公立と私立園で事情が異なるため、現在調整中。あわら市は保育料の徴収を市がしているが、副食費については、私立園については園ごとの徴収となる予定。
- 議長（会長）その他で他に何かないか。
- 木谷委員 育休中に上の子をこども園に預けている人について、現在では8時間の保育時間でも、11時間の保育時間でもよいこととなっているが、母が家にいる状態なので、産後休暇を終えて育児休業に入ったら、原則8時間としてはどうか。母にとっては気軽に預けられてよいかもしれないが、遅くに迎えに来る人がいる。預けられている子どもにしてみると、下に弟妹ができて不安定な上に迎えが遅いと、余計に不安定となる。
- 副会長 子どもの安定のためには、8時間でよいのでは。
- 塚田委員 子どもは早めにお迎えだと安定すると思う。
- 竹内委員 8時間でよいと思う。
- 事務局 他の市町では、すでに8時間としているところもある。ただ、育休中でも特別な場合は11時間認める必要がある場合もある。
- 議長（会長）概ね8時間でよいとの意見が出たようだ。今後の会議で検討することとしたい。
- 委員全員 了承。
- 事務局 次回の会議で資料をお示しする。